

町民の皆さまへ

高根沢町議会建設産業常任委員会の視察に関して

平成 28 年 10 月 31 日から 11 月 1 日にかけて実施しました、高根沢町議会建設産業常任委員会所管事務調査に関し、12 月 26 日付けの下野新聞で報道された内容について、12 月 27 日に高根沢町議会議員全員協議会を開催しました。住民の皆様のご信頼を損なうことになってしまったことをお詫び申し上げますとともに、確認した内容を下記のとおり報告させていただきます。

記

高根沢町議会建設産業常任委員会では、所管事務である農業 6 次産業化について、11 月 1 日午前 9 時 30 分から、山形県鶴岡市役所で研修を実施しました。その後、6 次産業化に取り組んでいる同市内の施設「産直めぐり」にて施設を見学するとともに関係者から話を聞き、12 時少し前に研修を終えました。

研修終了後、この施設内の「農家レストラン」にて昼食をとりました。その際、ビール中ビン 2 本を、5 人でコップに 1～2 杯ずつ飲みました。飲んだ量は、2 人の議員がコップ 1 杯、2 人の議員がコップ 2 杯ほど、1 人の議員は、つがれましたが飲みませんでした。午後 1 時半にバスが発車し、コップ 2 杯ほどを飲んだ議員は、バスの車中で缶ビール、缶酎ハイを飲みました。コップ 1 杯を飲んだ議員は、車中では飲みませんでした。なお、これらの昼食と飲料費用は全て議員の個人負担です。

午後 5 時半頃、高根沢町役場に到着し、コップ 1 杯を飲んだ議員 2 人は、自家用車を運転して帰宅しました。車中で飲んだ議員は、家族の迎え等により帰宅しました。

本日開かれた会議において、自家用車を運転して帰った議員は「少量のビールであり、5 時間以上経過してアルコールが分解されていると判断してハンドルを握ったが、議会人としての判断が甘かった」と反省しております。また、研修後の昼食時等の飲酒については、「予定していた研修が全て終了し、その後は帰るだけとはいえ道義的責任もあった」と反省しております。

今回、模範となるべき議員として町民の皆さまに不信感を与えてしまったことを深く反省しお詫び申し上げますとともに、今後、このような事態を招くことのないよう、早急に再発の防止と健全化に向けた組織を立ち上げ取り組んでまいります。

平成 28 年 12 月 27 日

高根沢町議会議長 加藤 貞夫
〃 建設産業常任委員長 加藤 章